

カリキュラムマップ (法学研究科博士前期課程 法学・政治学専攻 知的財産法)

	最先端かつ高度な専門性と深い学識	高度な教養	高度な国際性	高度なデザイン力	1年				2年				
					春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	
幅広い知識を修得している。		○			高度教養教育科目								修士論文
多角的・総合的に思考し、客観的に評価できる。		○											
法学・政治学の高度な専門知識をもって課題を発見できる。				○	研究指導1		研究指導2		研究指導3		研究指導4		
発見した問題に対して、解決策への道筋を構想できる。				○									
法学・政治学の高度な専門知識を身につけ、課題解決のためにその知識を活用できる。	○				専門教育科目(概論科目) 公法の基礎、民法の基礎、 法政情報処理、 日本政治総合演習(留学生)	専門教育科目 裁判学、知的財産経営、日本法史、日本政治史、地方行政論、法政情報学1、法政情報学2、 地方自治演習、自治体インターンシップ特別演習基礎、自治体インターンシップ特別演習、意匠法1、 商標法1、著作権法概論、不正競争防止法、産業財産権法特論、産業財産権法演習1、 産業財産権法演習2、産業財産権法演習3、産業財産権法演習4、産業財産権法展開、 産業財産権法分析1、産業財産権法分析2、産業財産権法基盤、知的財産権関係契約法、総合演習							
異なる言語・社会・文化のあり方を理解できる。				○	専門教育科目兼高度国際性涵養 教育科目(概論科目) 国際政治学概論、 日本法総合演習(留学生)、 政治学概論	専門教育科目兼高度国際性涵養教育科目 憲法1、憲法2、行政法1、行政法2、税法、刑法、刑事訴訟法、国際法1、国際法2、刑事法、刑事法制論、 統治論、人権論、民法1、民法2、商法1、商法2、経済法、民事訴訟法、裁判外紛争処理法、労働法1、 労働法2、雇用関係法、社会保障法、国際私法、国際取引法、労働市場法、比較法史、ローマ法、 法社会学、法政策学、中国法、法理学、法思想史、政治学、政治過程論、西洋政治思想史、 アジア政治史、行政学、比較政治学、特許法1、特許法2、意匠法2、商標法2、産業財産権関係条約1、 産業財産権関係条約2、国際知的財産法、著作権法分析、知的財産法演習、産業財産権法応用1、総合演習							
差異を尊重したコミュニケーションができる。				○									